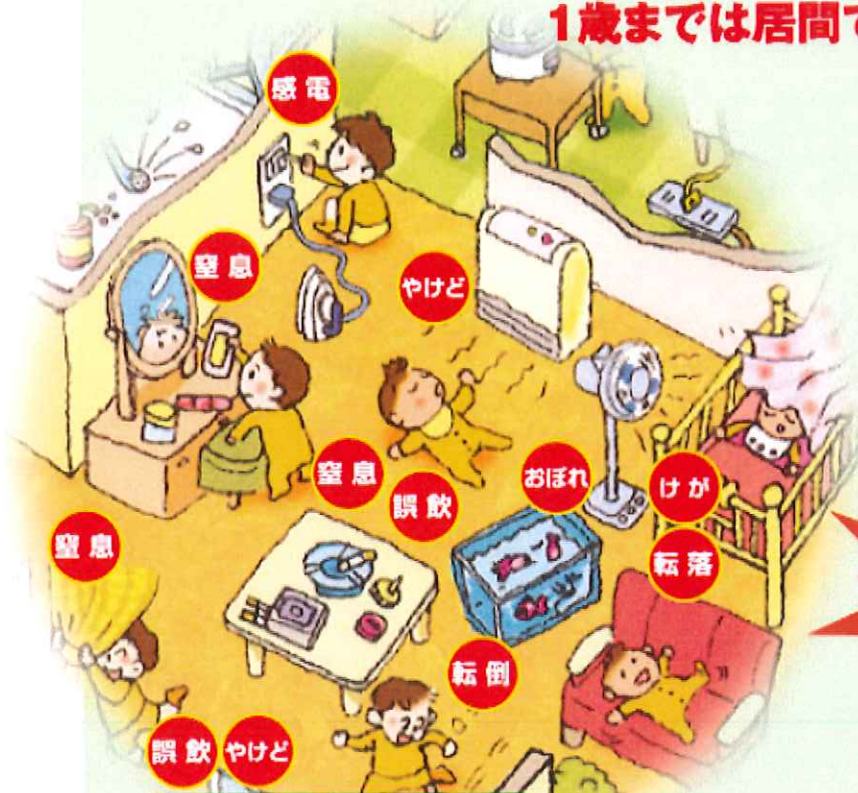


1歳までは居間での事故が多発!!

とくに誤飲や窒息の事故に注意が必要です。直径39mmより小さいものは誤飲の恐れがあるので子どもの手の届かない1m以上の高さの所に片付けましょう。



タバコの誤飲事故が多い

リビングでの危険

台所ではやけどの事故が多い!

やけどの原因となる熱源がたくさんあります。台所には簡単に入れないように柵をつけたり、熱くなる物は手の届かない高さの所に置きましょう。



台所での事故

浴室での危険

誤飲 やけど おぼれ 転落



階段での危険

溺れの事故は危険度が高い!

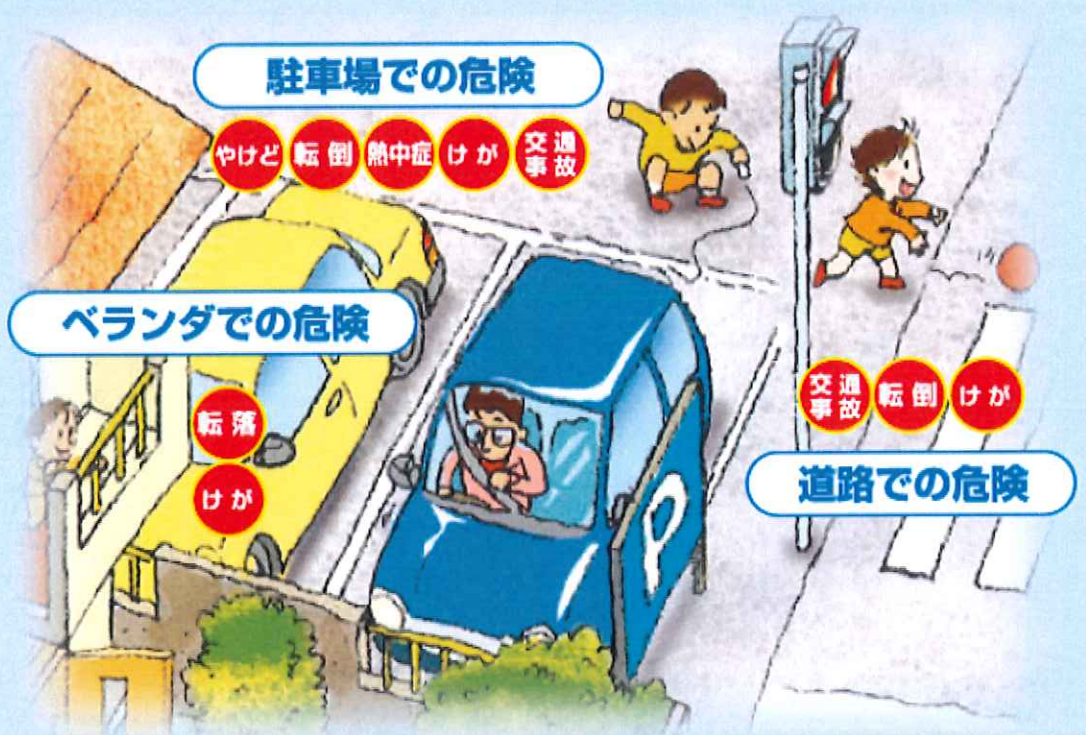
小さい子どもがいる家庭では浴槽に残し湯をしないこと、浴室には簡単に入れない工夫を。

ハイハイができるようになると階段からの転落事故が。

階段には上り口には柵をつけるなどの対策をしましょう。

少しずつ行動範囲が広がり、屋内から屋外へと事故が起こる範囲も広がります。

屋内ではベランダに出て転落事故や浴室での溺れの事故など起こります。浴槽に残し湯をしないこと、ベランダには1人では出られない等の工夫をしましょう。



駐車場での事故や自動車同乗中の事故が多く起きています。

チャイルドシートの着用は大人のシートベルトと同じように習慣づけが大切です。

夏にはプール遊びや花火などの遊び道具でのけがが多くなります。必ず、大人がついているようにし、安全な遊び方を教えましょう。

自動車での危険

交通事故 転倒 けが

道路・歩行中での危険

交通事故 転倒 転落

道路での危険

自動車同乗中の事故だけでなく飛び出しなどの道路での事故も増えるので交通ルールを教えたり、自転車は車の通らない所で乗るように指導することが大切です。

3歳を過ぎると屋外で遊ぶ機会が多くなります。

道具を使っの遊びや大人のまねをしたりなど身の回りにあること全てが遊びになります。しかし目の前にあることに夢中になり、危険を判断する力は不十分です。

転落 けが

転落 おぼれ

転落

けが

誤飲

公園遊具での危険

はさむ 転倒 転落

刺され

遊具の安全な遊び方を教えたり、遊びのルールを決め守らせたりなど危険なことを普段の遊びの中で学習することが大切です。